

認定書

国住指第 1339 号
平成 23 年 9 月 15 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 守谷 承弘 様

国土交通大臣 前田 武志



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ〔防火区画貫通部 1 時間遮炎性能〕の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0553
2. 認定をした構造方法等の名称
給・排水管・ケーブル／熱膨張材・合成ゴム混入無機質充てん材・モルタル充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添のとおり

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

給・排水管・ケーブル/熱膨張材・合成ゴム混入無機質充てん材・モルタル充てん/
壁耐火構造/貫通部分(中空壁を除く)

2. 寸法及び形状等

(寸法単位: mm)

項目		申請構造
開口部	形状	矩形または円形
	面積	矩形の場合 0.0598m ² 以下(125×478以下) 円形の場合 0.0123m ² 以下(φ125以下)
占積率 (開口面積に対する給・ 排水管、断面積の総合計 の割合)		42.42%以下
貫通する壁の構造等		(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) ALC 厚 100 以上 (2) コンクリート 厚 100 以上

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
<p style="text-align: center;">給・排水管・ケーブル</p>	<p>・本数 18 以下／開口</p>
	<p>給・排水管</p> <p>(1)～(6)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 架橋ポリエチレン管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6769, JIS K 6787 ・外径 34.0_{±0.15} 以下 ・肉厚 4.00_{±0.30} 以下 <p>(2) ポリプロピレン管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外径 34.0_{±0.15} 以下 ・肉厚 4.00_{±0.30} 以下 <p>(3) ポリブテン管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6778, JIS K 6792 ・外径 34.0_{±0.25} 以下 ・肉厚 2.95_{±0.25} 以下 <p>(4) 金属強化ポリエチレン管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外径 32.1_{±0.20} 以下 ・肉厚 3.10_{±0.30} 以下 <p>(5) 水道用(建築用)銅管</p> <p>被覆材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 ポリエチレン ・外径 31.0 以下 ・厚さ 4.5 以下 <p>銅管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS H 3300 ・外径 22.2₂ 以下 ・肉厚 0.81 以下 <p>(6) 硬質塩化ビニル管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6741, JIS K 6742 ・外径 38.0_{±0.30} 以下 ・肉厚 3.10_{±0.80} 以下 <p>・本数 6 以下</p>

項目	申請構造
給・排水管・ケーブル(つづき) 被覆材付給・排水管	<p>[1] 被覆材</p> <p>(1)～(9)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) ポリエチレンフォーム ・規格 JIS A 9511</p> <p>(2) ポリプロピレンフォーム</p> <p>(3) 難燃ポリオレフィンフォーム</p> <p>(4) ポリスチレンフォーム ・規格 JIS A 9511</p> <p>(5) 硬質ウレタンフォーム ・規格 JIS A 9511</p> <p>(6) フェノールフォーム ・規格 JIS A 9511</p> <p>(7) 合成ゴム系フォーム (ニトリル^oム、スチレン^oム、クロロ^oレンゴ^oム、エチレン^oロビ^oレンゴ^oム)</p> <p>(8) グラスウール ・規格 JIS A 9504</p> <p>(9) ロックウール ・規格 JIS A 9504</p> <p>・外径 50.0_{+4.0} 以下 ・厚さ 10.0_{+2.0} 以下</p> <p>[2] 給・排水管</p> <p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 架橋ポリエチレン管 ・規格 JIS K 6769, JIS K 6787 ・外径 27.0_{±0.15} 以下 ・肉厚 3.25_{±0.25} 以下</p> <p>(2) ポリプロピレン管 ・外径 27.0_{±0.15} 以下 ・肉厚 3.25_{±0.25} 以下</p> <p>(3) ポリブテン管 ・規格 JIS K 6778, JIS K 6792 ・外径 27.0_{±0.15} 以下 ・肉厚 2.90_{±0.20} 以下</p> <p>(4) 金属強化ポリエチレン管 ・外径 25.1_{±0.20} 以下 ・肉厚 2.90_{±0.25} 以下</p> <p>・本数 6 以下</p>

項目	申請構造
給・排水管・ケーブル(つづぎ) さや管付給・排水管・ケーブル	<p>[1] さや管 (PF管 CD管)</p> <p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) さや管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1) ポリエチレン系樹脂 2) 架橋ポリエチレン系樹脂 ・外径 42.0_{±0.50} 以下 ・厚さ 2.00_{±0.40} 以下 ・長さ 壁面より 300 以上 ・端部処理 1)～4)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1) 塩化ビニルテープ巻き 2) グラスウール 3) ロックウール 4) 不燃パテ (NM-2755) <div data-bbox="555 790 1273 1288" style="text-align: center;"> </div> <p>(2) 合成樹脂製可とう電線管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS C 8411 ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1) ポリエチレン系樹脂 2) 架橋ポリエチレン系樹脂 ・外径 42.0_{±0.50} 以下 ・厚さ 2.00_{±0.40} 以下 <p>(3) 硬質塩化ビニル電線管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS C 8430 ・外径 42.0_{±0.50} 以下 ・厚さ 2.00_{±0.40} 以下 <p>(4) 楕円さや管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1) ポリエチレン系樹脂 2) 架橋ポリエチレン系樹脂 ・外径 40.0_{±0.50} × 27.0_{±0.50} 以下 ・厚さ 2.00_{±0.40} 以下 <p>・本数 6 以下</p>

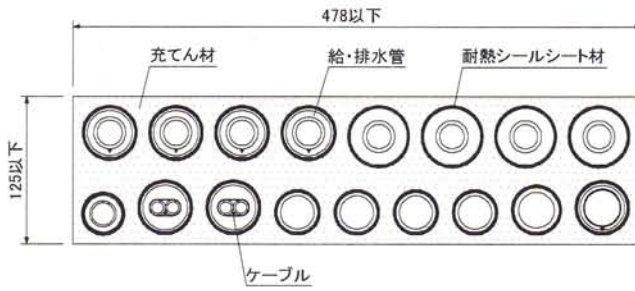
項目	申請構造
給・排水管・ケーブル(つづき)	<p data-bbox="403 237 724 271">[2] 給・排水管・ケーブル</p> <p data-bbox="403 277 903 311">(1)～(6)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p data-bbox="416 318 624 351">(1) ①⑦の組合せ</p> <p data-bbox="416 358 624 392">(2) ②⑦の組合せ</p> <p data-bbox="416 398 624 432">(3) ③⑦の組合せ</p> <p data-bbox="416 439 624 472">(4) ④⑦の組合せ</p> <p data-bbox="416 479 624 512">(5) ⑤⑦の組合せ</p> <p data-bbox="416 519 539 553">(6) ⑥のみ</p> <p data-bbox="451 560 735 593">① 架橋ポリエチレン管</p> <ul data-bbox="451 600 863 712" style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6769, JIS K 6787 ・外径 27.0_{±0.15} 以下 ・肉厚 3.25_{±0.25} 以下 <p data-bbox="451 719 708 752">② ポリプロピレン管</p> <ul data-bbox="451 759 735 837" style="list-style-type: none"> ・外径 27.0_{±0.15} 以下 ・肉厚 3.25_{±0.25} 以下 <p data-bbox="451 844 651 878">③ ポリブテン管</p> <ul data-bbox="451 884 863 996" style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6778, JIS K 6792 ・外径 27.0_{±0.15} 以下 ・肉厚 2.90_{±0.20} 以下 <p data-bbox="451 1003 1299 1037">④ アルミニウム蒸着 PET フィルム巻きトリプル架橋ポリエチレン管</p> <ul data-bbox="451 1043 877 1189" style="list-style-type: none"> ・外径 13.00_{±0.15} 以下 (2本以下) 10.00_{±0.15} 以下 (1本以下) ・肉厚 1.60_{±0.20} 以下 ・アルミニウム蒸着 PET フィルム厚 0.5 以下 <p data-bbox="451 1196 1158 1229">⑤ アルミニウム蒸着 PET フィルム巻きペアポリブテン管</p> <ul data-bbox="451 1236 1038 1348" style="list-style-type: none"> ・外径 13.00_{±0.15} 以下 (2本以下) ・肉厚 1.60_{±0.20} 以下 ・アルミニウム蒸着 PET フィルム厚 0.5 以下 <p data-bbox="451 1355 735 1388">⑥ ステンレスフレキ管</p> <ul data-bbox="451 1395 713 1473" style="list-style-type: none"> ・外径 32.3 以下 ・肉厚 1.0 以下 <p data-bbox="451 1480 679 1514">⑦ 制御用ケーブル</p> <ul data-bbox="451 1520 871 1588" style="list-style-type: none"> ・外径 1.5 以下×3本 ・公称断面積 1.25mm²/本以下

項 目	申 請 構 造
防 火 措 置 材	<p>[1] 熱膨張材・合成ゴム混入無機質充てん材（以下、耐熱シールシート材とよぶ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・密度 1.1g/cm³ 以上 ・厚さ 2.3 以上 ・幅 55 以上 ・長さ 配管または電線管の周長1周以上 <ul style="list-style-type: none"> ・外側張付材 (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1) ポリオレフィン系繊維強化アルミニウム系テープ (2) アルミニウム系テープ (3) ガラス繊維強化アルミニウム系テープ (4) なし ・外側貼付材厚さ 0.35 以下 <p>[2] 充てん材 モルタル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充てん厚 100 以上

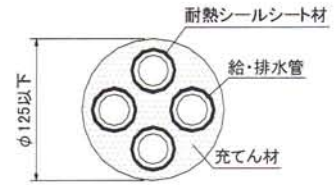
4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

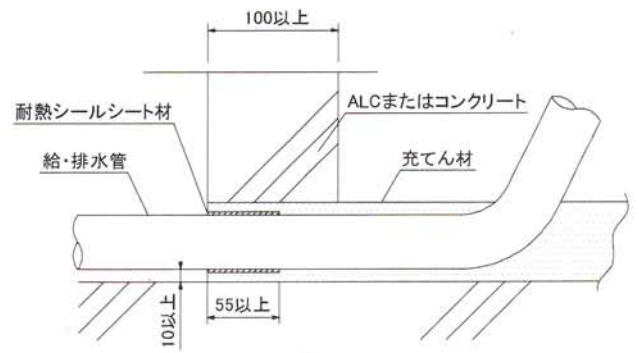
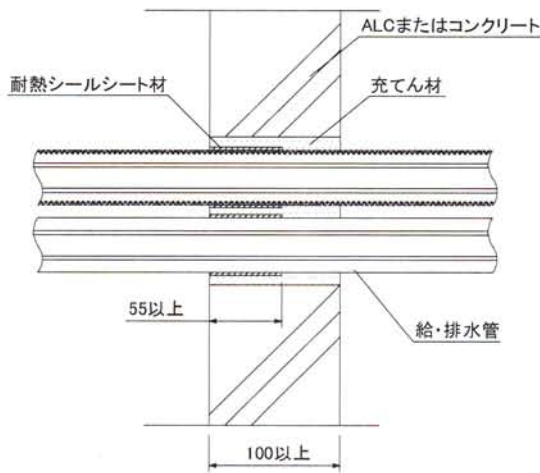
[矩形の場合]



[円形の場合]



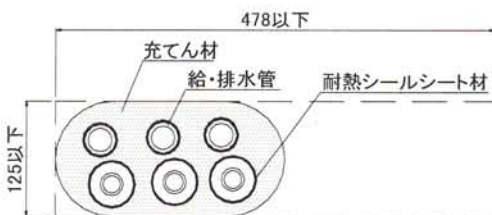
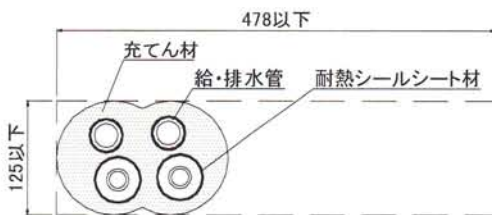
正面図



断面図

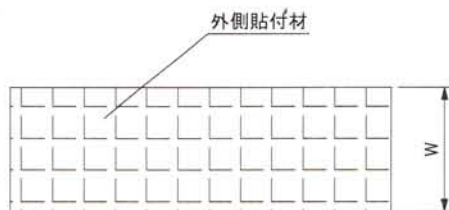
増打ちの場合

[その他の開口例]

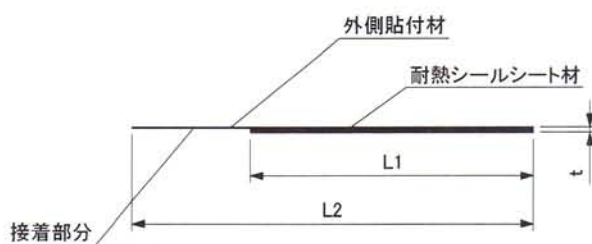


・耐熱シールシート材

(寸法単位：mm)



平面図



断面図

製品サイズ例	L1	L2	W	t	基準外径
28	104 以上	170 以下	55 以上	2.3 以上	φ28 以下
48	167 以上	235 以下	55 以上	2.3 以上	φ50 以下

5. 施工方法等

施工手順及び施工図を以下に示す。

① 貫通開口部の設定

給・排水管サイズ、本数及び占積率を考慮して貫通開口部を設ける。

② 給・排水管の設置

給・排水管の設置を行い、支持・固定する。

③ 耐熱シールシート材の巻き付け

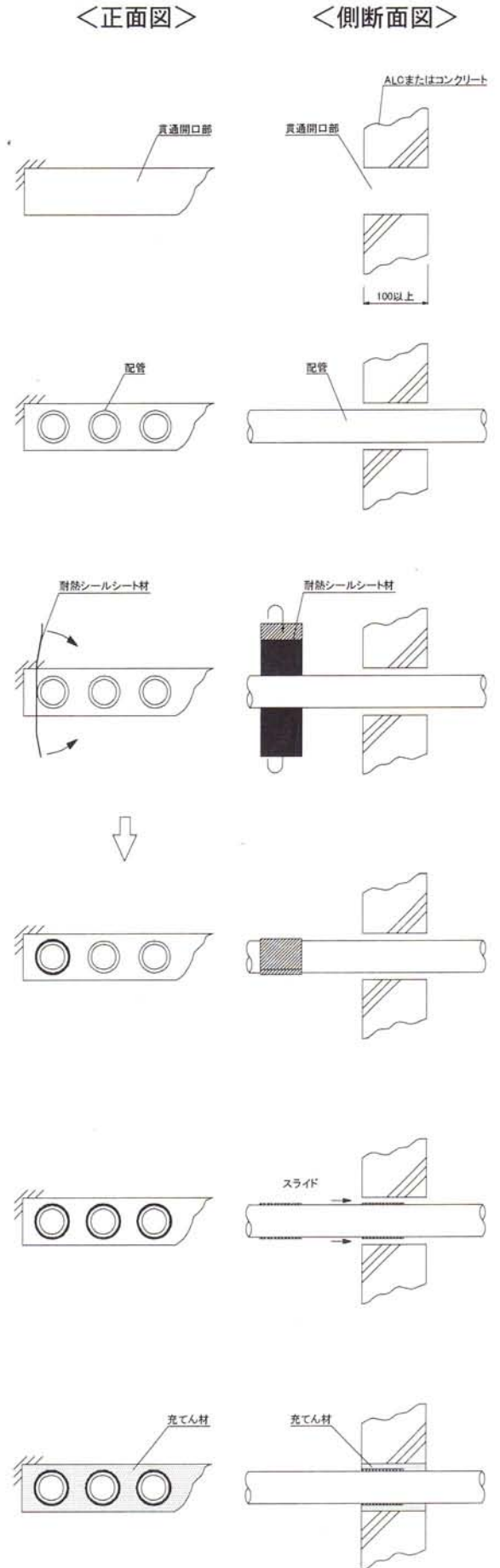
耐熱シールシート材を給・排水管に対して一周以上巻き付けて外側貼付材部分を張付けて固定する。
この時、耐熱シールシート材と給・排水管との間に隙間がないように注意し確認する。

④ 耐熱シールシート材のスライド

耐熱シールシート材を給・排水管に沿わせて耐熱シールシート材の先端が壁面と同一面になるようにスライドさせる。

⑤ 埋め戻し

貫通開口部と耐熱シールシート材の隙間に、100 mm 以上充てん材にて埋め戻しする。
埋め戻し部に隙間が無いことを確認して仕上げる。



施工図（手順）